

IV 施策の展開

【基本目標1】

ライフステージに応じたスポーツ・レクリエーションの推進【する】

1 生涯スポーツの推進

(1) 子どものスポーツの推進

子どもの体力低下が社会問題化する中で、子ども自身が体を動かすことの楽しさを発見し、進んで体を動かすようになるためには、学校の授業だけでなく、学校外のスポーツ環境を充実していくことが重要です。

このことから、市民参加型のスポーツイベントを開催し、子どもが気軽にスポーツに親しむ環境づくりに取り組めます。

また、令和7年度を目途に休日の中学校の部活動の地域移行を進めているところです。その際に、円滑な移行ができるようソフト、ハードの両面にわたり環境整備に努めます。

数値目標

◎地域移行の際の中学校の運動部加入の割合を向上する

【取組】

- ◇参加型イベント実施の際には、子どもが気軽に参加できる種目を取り入れることで、誰もが楽しくイベントに参加できるように努める。(スポーツ振興課)
- ◇中学校の休日の部活動の地域への移行に際し、種目、活動場所や指導者の確保など、取り組みやすい体制の構築に努める。(学校教育課、スポーツ振興課)

(2) 成人スポーツの推進

働いている世代や子育て世代がスポーツ活動に取り組むことができるように、それぞれのニーズに合ったスポーツ大会やスポーツ教室のあり方を検討するとともに、スポーツの機会や環境の改善・整備を推進します。

数値目標

◎成人市民の週1回以上のスポーツ実施率を50%以上とする
(現状：40%)

【取組】

- ◇普段スポーツをしていない人でも気軽に参加でき、スポーツを始めるきっかけづくりとなるよう、関係団体と連携し、魅力あるスポーツ大会やスポーツ教室の開催に努める。(スポーツ振興課、東金アリーナ)
- ◇子育て世代が子どもと一緒にスポーツ活動を楽しめるように、スポーツ施設に「ファミリーの日」等の無料開放日を設定し、スポーツに親しむ機会を提供し、継続的な利用につながっていくよう努める。(東金アリーナ)
- ◇壮年期から中年期におけるスポーツ実施率が低いことから、仕事が終わってからもスポーツができるよう、夕方以降の時間帯の教室や運動プログラムの充実などについて検討する。(東金アリーナ)

(3) 高齢者スポーツの推進

高齢者の健康づくりや生きがいづくり、社会参加のきっかけづくりに寄与するため、スポーツ大会やスポーツ教室の開催等、高齢者も気軽にスポーツに取り組むことができるイベントの提供や環境の整備に努めます。

数値目標

◎高齢者の週1回以上のスポーツ実施率を55%以上とする
(現状：45%)

【取組】

- ◇運動が苦手な高齢者や参加に踏み切れない高齢者に対して、誰でも楽しめるウォーキングイベントの実施などにより、健康や体力の維持・増進だけの目的でなく、新たな仲間との出会いなど生きがいづくりの場となるよう参加を促進する。(スポーツ振興課、スポーツ推進委員会、東金アリーナ)
- ◇関係機関や部署と連携し、介護予防や健康づくりの一環として体力増進・運動習慣を身に付けることを目的に、ロコモ体操の実施、運動指導などを通して、高齢者自らが自主的に取り組むことのできる身体活動や運動の推進を図る。(高齢者支援課、健康増進課)

(4) 障がい者スポーツの推進

障がいのある人が住み慣れた地域でいきいきと生活し、体力の維持増進を図る活動が継続できるよう、スポーツを始めるきっかけづくりやスポーツの楽しさを体験する等の環境整備を推進します。また関係機関や団体との連携・協力体制を構築し、障がいのある人への正しい理解と認識を深め、障がいのある人の社会参加を促進するための取り組みを支援します。

取組目標

◎障がい者スポーツ大会や体験会等を年2回以上開催する

【取組】

- ◇関係機関や団体と連携し、障がい者アスリートが集うスポーツ大会や体験会等のイベントを開催し、障がい者スポーツへの関心を高め、応援する仕組みやボランティアに参加する仕組みづくりに努める。(社会福祉課)
- ◇各種イベントにおいて、障がいのある人も参加できる種目を取り入れ、関係団体への参加呼びかけをしながら、拡充・定着を推進する。(スポーツ振興課)
- ◇スポーツ推進委員や障がい者関係団体を中心に、障がい者スポーツ指導者講習会等を受講し、障がいのある人から心身ともに信頼できる指導者を育成するため、講習会等の周知と参加の促進を図る。(社会福祉課)

(5) ニュースポーツ等の推進

ニュースポーツや軽スポーツは、老若男女、障がいの有無に関わらず、誰もが簡単に行えるレクリエーション的要素が強いスポーツで、特別な技術や体力を必要としないものであり、スポーツ推進委員が各種研修を受講し指導・普及に努めています。指導者の派遣や用具の貸出し等、各地区やグループ単位での取り組みを支援しながらニュースポーツ等の推進に努めていきます。

取組目標

◎ニュースポーツ等を紹介するイベントを年2回以上開催する

【取組】

- ◇各地区から選出されているスポーツ推進委員による地区活動を通して、市民が気軽に楽しみ取り組むことのできるニュースポーツの普及・定着を目指す。(スポーツ推進委員会)
- ◇研修会等に参加し、ニュースポーツの新たな指導技術を習得して、継続的にニュースポーツの情報発信に努める。(スポーツ推進委員会)

●生涯スポーツの推進に関連して取り組む主な事業

	事業名等	主管課等
1	東金・九十九里波乗りハーフマラソン	スポーツ振興課(実行委員会)
2	ときめけ! 東金スポーツフェスティバル	スポーツ振興課(実行委員会)
3	学校施設開放(スポーツ開放)事業	スポーツ振興課
4	スポーツ少年団活動	各スポーツ少年団
5	スポーツ推進委員会事業	東金市スポーツ推進委員会
6	スポーツ推進委員研修会への参加	東金市スポーツ推進委員会
7	東金アリーナ自主・共催事業	東金アリーナ
8	東金市スポーツ協会支部事業	東金市スポーツ協会各支部
9	東金市スポーツ協会専門部(協会)事業	東金市スポーツ協会各専門部(協会)
10	総合型地域スポーツクラブ事業	東千葉スポーツクラブ
11	東金市ロコモ体操・運動指導	高齢者支援課、健康増進課
12	障がい者スポーツ大会の実施	社会福祉課
13	障がい者スポーツ講習会への参加	社会福祉課

2 競技スポーツの推進

スポーツを楽しんだり、健康維持のために行うだけでなく、プロや実業団などの試合を観戦することや、高いレベルの指導を受けること、大会等に参加して日頃の練習の成果を発揮したりすることは、競技力の向上につながります。

(1) トップアスリート育成事業の展開

多感な子ども時代に世界の舞台で活躍するトップアスリートと出会うことにより、スポーツに対する興味・関心や、未来のトップアスリートを目指すきっかけづくりにつなげていくために、トップアスリートを招聘し、学び・触れ合い・体感できるイベントを提供していきます。また、トップレベルの大会を地元へ誘致し、試合を観戦することによって、スポーツを「みる」楽しさや素晴らしさを体感し、「する」喜びにつなげるような機会を創出します。

「スポーツアンケート」結果（P 60～61参照）によると、アスリートの育成が、市のスポーツ振興につながると「思う」「どちらかといえば思う」と回答した市民は467名で、全体の78.9%となりました。

また、アスリート育成につながる事業として、最も回答が多かった事業が「プロやアスリート等による実技指導や講習」で173名（29.2%）、次に「子どもたちにとって目標となる大会や競技会の開催」で96名（16.2%）となりました。

取組目標

◎トップアスリートによる実技指導を受けることのできるイベントを実施する

【取組】

- ◇トップアスリートを招き、講演会やスポーツ教室を開催し、市民とのふれあいや夢や希望を育む機会を創出するとともに、本市のジュニア競技者の技術向上意欲を喚起する。（東金アリーナ、スポーツ振興課）
- ◇東金アリーナ等にトップレベルの大会を誘致し、スポーツ観戦を通じて楽しさや素晴らしさを体感しながら技術を習得する機会を創出する。（東金アリーナ、スポーツ振興課）

(2) 競技会等への参加

様々な競技会等に積極的に参加し、日頃の練習の成果を発揮する機会を創出するとともに、他の選手との交流を図ります。

【取組】

◇種目別に開催される地区大会等に、市を代表した選手を派遣することで、競技力の向上を図ります。(スポーツ協会)

●競技スポーツの推進に関連して取り組む主な事業

	事業名等	主管課等
1	東金アリーナ自主・共催事業の実施	東金アリーナ
2	東金市スポーツ協会 専門部（協会）事業の実施	東金市スポーツ協会各専門部（協会）
3	山武郡市民体育大会（上位大会を含む）の参加	東金市スポーツ協会
4	山武郡市民駅伝大会の参加	東金市スポーツ協会



3 学校体育の充実

(1) 体育授業等の充実

学校体育の目標である「生涯にわたって豊かなスポーツライフを実現する」ため、すべての子どもが運動の楽しさを味わい、自分にあったスポーツを見つけることができるよう、授業の改善や教員の指導力向上に取り組んでいくとともに、「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」などを参考にしながら、本市の子どもの運動能力や体力の状況を把握し、体力の向上に向けた取り組みを進めます。

(2) 部活動の推進と環境整備

中学生は、心身ともに大人へと成長する時期であり、健やかな体をつくりあげる大事な時期です。また体育の授業のほかに部活動に参加しながら、好きなスポーツを見つけて、仲間を作り、部活動を楽しむことが大切です。今後、部活動の地域移行も行っていく中で、専門的な知識や技能を有する外部指導員を積極的に活用する等、部活動の充実を図ります。

数値目標

◎体力・運動能力等調査における全国・県平均値を達成する

【取組】

- ◇体力テスト等調査の実施により、児童・生徒の体力の実態を客観的に把握し、学校ごとにそれぞれの実態に即した「体力向上プラン」の作成を行う等、学校全体で継続的な体力向上の取り組みを進める。(学校教育課)
- ◇部活動の地域移行も踏まえ、市内4中学校全体で部活動と同様な活動に取り組めるようハード、ソフト両面の環境整備を検討する。(学校教育課、スポーツ振興課)
- ◇部活動の地域移行を踏まえ、スポーツリーダーバンクの登録者の活用を検討する。(スポーツ振興課)

●学校体育の充実に関連して取り組む主な事業

	事業名等	主管課等
1	体力・運動能力調査の実施と指導・助言	学校教育課
2	学校体育授業の充実	学校教育課
3	部活動の地域移行の推進と環境整備	学校教育課、スポーツ振興課

令和3年度に実施された「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」による本市の児童・生徒の状況は次のとおりとなりました。

《令和3年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果》

■ は、全国・県より優れている数値
 ■ は、全国・県より劣っている数値

項目	小学校5年男子			小学校5年女子			中学校2年男子			中学校2年女子		
	全国	県	東金	全国	県	東金	全国	県	東金	全国	県	東金
身長	140.1	140.3	139.7	141.5	142.4	141.3	161.4	161.6	160.1	155.2	155.1	154.5
体重	35.9	36.2	36.0	35.4	36.2	36.8	50.9	51.0	51.2	47.9	48.0	47.5
握力	16.90	17.40	18.62	16.49	17.29	15.25	30.39	29.10	33.62	24.19	23.71	25.00
上体起こし	19.94	20.42	19.00	18.68	19.11	19.50	27.31	26.21	28.00	23.23	22.78	25.50
長座体前屈	33.37	35.41	35.25	37.30	40.11	34.87	44.80	46.01	48.00	46.65	47.61	49.12
反復横跳び	42.83	43.10	42.62	41.00	41.22	36.87	56.28	51.57	54.00	49.34	46.40	48.25
シャトルラン	52.45	50.56	50.00	42.33	41.14	42.87	94.44	79.68	87.75	60.91	54.07	64.25
持久走	-	-	-	-	-	-	374.31	-	-	287.16	-	-
50m走	9.24	9.11	9.30	9.49	9.42	9.15	7.78	7.84	7.30	8.66	8.74	8.45
立ち幅跳び	155.86	157.44	161.12	148.36	149.38	151.37	203.80	198.27	204.62	174.40	169.44	173.00
ソフトボール投げ	21.75	21.28	20.25	13.86	13.79	11.62	-	-	-	-	-	-
ハンドボール投げ	-	-	-	-	-	-	21.09	19.70	19.62	13.35	12.49	12.50
総合評価	60.78	-	-	61.59	-	-	50.80	-	-	54.91	-	-

※身長・体重・・・全国・県（令和2年度学校保健統計調査より）、東金市（令和3年度学校保健統計調査より）
 総合評価、中学生持久走・・・千葉県・東金市では実施せず（全国のみ公表）

公表されている数値を表にまとめたものです。

☆ 今回実施した体力・運動能力調査では、小学生は体力、運動能力ともに、全体的に全国、千葉県の平均を下回っていた。

（平成28年度は、小学生の体力・運動能力の水準は、男子女子児童ともに全国や千葉県平均を大幅に上回っている状況であった。）

☆ 中学生は、男子女子ともに、個別に平均に至らなかった項目もあるが、全体として全国や県平均を上回っていた。

（平成28年度は、中学生になると男子生徒は全国や県平均ともに下回り、女子生徒は全国平均は上回っているが、県平均は下回っている状況であった。）

【基本目標 2】

東京オリンピック・パラリンピックを契機としたスポーツの推進【みる】

1 スポーツ・ツーリズムの促進

スポーツイベント等と観光を組み合わせた「スポーツ・ツーリズム」は、新しい観光客誘致策として注目を集めています。

国内トップアスリートの大会やトレーニング地としての誘致活動にも取り組み、東金アリーナに多くの観光客・観戦客を誘致し、市の観光地や特産物等をPRし、地域振興を図っていきます。

また、スポーツに対する関心を高めることに繋げるため、市内で行われるトップチームの試合、キャンプの情報などを市民に発信します。

(1) 大規模スポーツイベントの開催

大規模なスポーツイベントを開催し、市民が様々な形でイベントに参加することで、スポーツに対する意欲や関心を高めます。

また、市内外から多くの参加者を募り、交流人口の増加を図ります。

取組目標

◎東金アリーナ等で集客力のあるスポーツ大会を年1回以上開催する

【取組】

◇市内外から参加者を募るような大規模スポーツイベントを開催する。(スポーツ振興課)

◇市観光協会や関係機関と連携し、東金アリーナ等に訪れた観光客や観戦客に市の観光地や特産物をPRする。(東金アリーナ、農政課、商工観光課)

(2) トップチーム等のキャンプ誘致

プロスポーツチーム等のキャンプを誘致し、トップアスリートを間近で見て、また、直接指導を受けるなど交流することで、特に子どもたちが「夢・希望・感動・あこがれの気持ち」を持つことができるよう、ジュニア育成を図ります。

取組目標

◎東金アリーナにトップアスリートのキャンプ等を誘致する

【取組】

- ◇キャンプ参加選手等の協力を得て、次世代アスリート育成のための技術レッスン等を実施する。(東金アリーナ、スポーツ振興課)
- ◇スポーツへの関心を高めるため、アスリートとの交流事業や観戦事業を実施し、広く市内外に発信し、市民間交流を図る。(東金アリーナ、スポーツ振興課)
- ◇市サッカー協会などと連携し、プロサッカーチームの試合の開催、シーズン前や国際大会前のキャンプ地として誘致活動に取り組む。(スポーツ協会、スポーツ振興課)

(3) スポーツ合宿等の誘致

東金アリーナをはじめとするスポーツ施設の持つポテンシャルを活かし、高校・大学、実業団等のサークルや運動部のスポーツ合宿等を誘致することで、施設の利用人数や交流人口の増加を図ります。

【取組】

- ◇高校、大学、実業団のスポーツ合宿や、各種スポーツ大会を誘致し、そこで行われる競技を市民が見学又は応援することで、当該種目への関心の向上を図る。(東金アリーナ、スポーツ振興課)

●スポーツ・ツーリズムの促進に関連して取り組む主な事業

	事業名等	主管課等
1	東金・九十九里波乗りハーフマラソン	スポーツ振興課(実行委員会)
2	プロスポーツチーム等のキャンプ誘致	東金アリーナ
3	スポーツ合宿誘致	東金アリーナ

2 スポーツ情報の充実

本市のスポーツ情報の発信は、市のホームページや広報紙、または東金文化・スポーツ振興財団のホームページ等で、スポーツ大会やスポーツ教室の開催等「する」スポーツの情報を中心に提供してきました。今後は、多様化する住民ニーズを捉えて、スポーツイベントを観戦・応援するといった「みる」スポーツや、ボランティア・指導者の派遣等の「ささえる」スポーツの情報も積極的に提供していきます。

また、本市にゆかりのある選手や市民が身近に感じられる児童・生徒の活躍等の情報も提供していきます。

取組目標

◎「広報とうがね」「市ホームページ」などを活用し、市内のスポーツイベントを観戦・応援する「みる」スポーツ情報を積極的に提供する

【取組】

◇本市にゆかりのあるアスリートやチームの存在および成績や活躍状況等に関する情報を市民にPRし、応援しようという機運の醸成を図る。(スポーツ振興課)

◇市内中学校や高校の部活動の状況を市民にPRし、大会等を観戦しようとする機運の醸成を図る。(学校教育課、スポーツ振興課)

●スポーツ情報の充実に関連して取り組む主な事業

	事業名等	主管課等
1	ホームページ、広報等の充実・活用	スポーツ振興課・東金アリーナ



【基本目標3】

スポーツ体制の支援・充実の促進【ささえる】

1 スポーツ団体への支援等

市民がスポーツをより身近に感じ、様々なスポーツを楽しむことができるよう、スポーツ協会をはじめとするスポーツ関係団体を支援し、地域のスポーツ活動の活性化と継続を図ります。

また、市民が全国レベルの大会へ出場する場合など、その個人又は団体の支援に努めます。

更には、優秀な成績を収めたアスリート、長年にわたりスポーツ活動に貢献された方を称え、顕彰します。

数値目標

◎総合型地域スポーツクラブ、スポーツ少年団の団体数の増加
(R4現在：地域スポ1団体 スポ少 8団体)

【取組】

- ◇総合型地域スポーツクラブが、地域住民のスポーツ活動やスポーツを始めるきっかけづくりの場として定着し、スポーツ振興の一翼を担う活発な活動に取り組むことができるよう支援する。(スポーツ振興課)
- ◇スポーツ少年団の新たな結成や活動を支援するとともに、指導者資格の取得やレベル向上のため、認定指導者研修会への参加等も積極的に推進する。(スポーツ振興課)
- ◇市民スポーツの裾野を広げ、多くの市民がスポーツに親しむ機会が得られるようスポーツ関係団体の活動を支援する。(スポーツ振興課)
- ◇大会等で優秀な成績をおさめた団体、個人に対して、市、教育委員会又はスポーツ協会で表彰し、参加者のモチベーションの向上を図ります。(秘書広報課、スポーツ振興課、スポーツ協会)

●スポーツ団体への支援等に関連して取り組む主な事業

	事業名等	主管課等
1	総合型地域スポーツクラブ、スポーツ少年団への支援	スポーツ振興課
2	東金市スポーツ大会出場補助金の交付	スポーツ振興課
3	東金市、教育委員会、スポーツ協会による表彰	秘書広報課、スポーツ振興課、スポーツ協会

2 スポーツ指導者・ボランティアの確保と育成

市民がスポーツ活動を始め、継続していくためには、スポーツ指導者の存在が不可欠なものであり、スポーツ活動を支える指導者の育成・支援に努めます。

また、近年、「ささえるスポーツ」が注目されていますが、この役割を担うスポーツボランティアを募集し、研修機会の提供や活動体制の整備に努めます。

本市のスポーツリーダーバンクへの登録者数は年々減少している状況であるため、スポーツリーダーバンク制度のPRを図り、登録者の増員に努めていきます。

(1) スポーツ指導者の育成

地域で活躍するスポーツ指導者を対象とした講習会等を実施し、指導力の向上とスポーツにおける安全確保を図ります。

また、休日部活動の段階的な地域移行を踏まえ、児童・生徒の部活動に携わる指導者の確保に努めます。

数値目標

◎スポーツリーダーバンクの増員 (R4現在 9名)

【取組】

- ◇各種スポーツにおけるニーズの多様化・高度化に伴い、障がい者スポーツを含めた質の高いスポーツ指導者を発掘し、確保していくとともに、市民の要請に応えられるよう指導者の養成に努める。(スポーツ振興課)
- ◇スポーツリーダーバンクの登録者の増加及び活用を図る。(スポーツ振興課)

《スポーツリーダーバンク登録状況》

(令和4年4月1日現在)

種 目	登録指導者数	種 目	登録指導者数
ソフトボール	1	ミニバスケットボール	1
バレーボール	1	軽スポーツ	1
ゴルフ	1	スポーツ吹矢	1
空手道	2	3B体操	1
計		8種 9名	

(2) スポーツボランティアの普及

スポーツイベントの開催を通じて、スポーツボランティアの普及を図るとともに、研修会等を開催し資質の向上を図ります。

取組目標

◎東金市スポーツボランティア制度を創設する（スポーツ振興課）

【取組】

◇スポーツボランティアの趣旨に賛同する協力者の募集や派遣の制度を整え、スポーツ協会やスポーツ推進委員と連携した活動の場を創出し、各種スポーツイベントへのボランティア参加を推進する。

●スポーツ指導者・ボランティアの確保と育成に関連して取り組む主な事業

	事業名等	主管課等
1	スポーツボランティア制度の創設	スポーツ振興課
2	東金・九十九里波乗りハーフマラソン	スポーツ振興課（実行委員会）
3	ときめけ！東金スポーツフェスティバル	スポーツ振興課（実行委員会）



3 スポーツ施設の整備と利用促進

本市においては、指定管理者制度を導入し、東金アリーナほかのスポーツ施設を指定管理しているところであり、指定管理者が持つ「柔軟性・弾力性」という特性を活かし、市民サービスの向上と効率的な施設の管理運営に努めます。

また、利用者からの意見も真剣に受け止め、施設の整備や使いやすさを常に追及し、さらなる利用の促進を図ります。

学校の体育館、グラウンドについては、学校教育に支障のない範囲で、夜間や休日などを市民に一般開放し、多くの市民がスポーツの場として活用できるように取り組みます。

(1) スポーツ施設の整備

東金アリーナをはじめとする4つのスポーツ施設は、建物、設備の老朽化が進んできているため、計画的に修繕・更新等を行うことで、市民が利用しやすい施設となるよう努めます。

【取組】

- ◇建物、設備の老朽化に対しては、公共施設等総合管理計画及び公共建築物個別施設計画に基づく、大規模修繕等を行う。(スポーツ振興課)
- ◇施設、設備の軽微な故障や破損、汚損等については、利用者に迷惑がかからないように、速やかに修繕等を行う。(スポーツ振興課、東金アリーナ)

(2) スポーツ施設の利用促進

WEBでの予約システム及び電話等による予約を併用することで、誰もが予約、利用しやすい環境を整えます。

数値目標

◎年間のスポーツ施設利用者人数を28万人以上とする
(H30現在：27万人 R3現在：19万人)

【取組】

- ◇誰もが利用しやすい施設とするため、施設の予約方法について、WEB上で予約できるシステムを運用する。(スポーツ振興課、東金アリーナ)
- ◇市スポーツ施設を車椅子やベビーカーでも利用できるようスロープの設置や駐車場の確保に努め、誰もが使用しやすく安全に利用できる施設のバリアフリー化に努める。(スポーツ振興課)

(3) 学校施設開放の推進

本市においては、市内小中学校の学校体育施設の一般開放を行い、小中学校と連携を図りながら、施設開放の充実に取り組んでいます。

(市内学校体育施設利用状況はP 7 2を参照)

今後は、多くの市民が身近なスポーツの場として活用でき、また各学校に適した学校施設開放事業となるよう、利用団体と学校間でスケジュール調整等が行えるよう検討します。このことにより利用時間の拡大や細分化、また祝日等の利用についても柔軟に対応することが可能となります。



◎学校施設開放の年間の利用率を92%以上とする

(R3現在：92%)

◎年間の学校施設開放の利用団体を100団体以上とする

(R3現在：95団体)

【取組】

◇学校施設開放が円滑に行えるよう利用団体と学校との調整を図り、利用可能時間を有効に貸し出すよう努めます。(スポーツ振興課)

◇利用可能時間に空きが生じた場合は、新たな利用者を募ることなどにより、効率的な貸し出しに努めます。(スポーツ振興課)

●スポーツ施設の整備と利用促進に関連して取り組む主な事業

(1) スポーツ施設の整備

	事業名等	主管課等
1	東金市公共建築物個別施設計画等による施設整備	スポーツ振興課
2	東金アリーナ陸上競技場の日本陸上競技連盟公認の更新	スポーツ振興課

(2) スポーツ施設の利用促進

	事業名等	主管課等
1	スポーツ施設予約システム	スポーツ振興課、東金アリーナ

(3) 学校施設開放の推進

	事業名等	主管課等
1	学校利用施設利用団体の調整会議の開催	スポーツ振興課

【 数値目標の設定（事業効果の検証） 】

本計画を着実に推進するための目安として具体的な数値目標を定め、施策の成果等を把握します。

◇1年間で運動・スポーツを行った人の割合

前 期		後 期	
平成29年6月	目 標	令和4年8月	目 標
57%		56%	65%

◇体力・運動能力調査における全国・県平均値

前 期		後 期	
実施年度	目 標	実施年度	目 標
各年度	平均値を達成	各年度	平均値を達成

◇成人市民の週1回以上のスポーツ実施率

前 期		後 期	
平成29年6月	目 標	令和4年8月	目 標
36%	50%	40%	50%

◇高齢者の週1回以上のスポーツ実施率

前 期		後 期	
平成29年6月	目 標	令和4年8月	目 標
45%	55%	45%	55%

◇スポーツ観戦をすることが好きな人の割合

前 期		後 期	
平成29年6月	目 標	令和4年8月	目 標
		76.9%	80.0%

◇年間のスポーツ施設利用人数

前 期		後 期	
平成29年度	目 標	令和3年度	目 標
244,575人	25万人以上	190,815人	28万人以上

※ 平成29年度は大会議室（14,951人）及び小会議室（2,307人）を除いた数値、令和3年度は大会議室（4,444人）及び小会議室（1,534人）を含んだ数値を適用。

V 点検評価

1 計画の進行管理体制

本計画の進行管理については、東金市スポーツ推進審議会（以下「審議会」という。）が行います。

年間事業計画に基づき、基本目標ごとに定めている目標値や達成熟度を中心に、それぞれの取組についての実施状況や効果等について、庁内関係各課との情報交換も含めスポーツ振興課が整理し、毎年度の進捗状況について審議会に諮ります。審議会は、これらの状況を確認し、必要に応じて改善や評価などを教育委員会に提言します。

2 計画の進行管理と評価

本計画を進行管理していく上で、基本目標ごとの目標値を中心に達成状況を毎年度把握し、その取組について評価を行います。

その評価に基づき、施策や事業についての見直しや改善について検討し、次年度以降の事業計画に反映させるとともに、効果的な取組につなげていきます。

このような「PDCA」サイクルでのマネジメントを行い、各年度の継続的なチェックにより、計画や具体的な取組の質の向上を図ります。

